

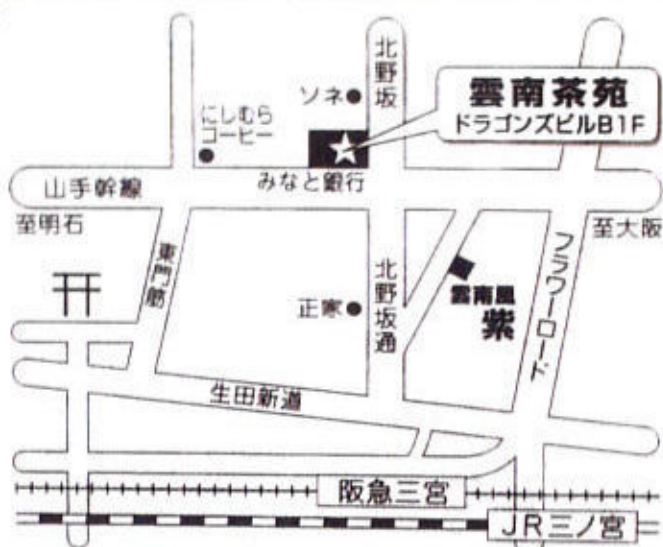


兵庫支部NEWS H19 9月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭(Tel.078-792-6130)
ホームページ <http://www.hi-net.zaq.ne.jp/kono> メール: hn75kb@ybb.ne.jp

購読料 12回1,500円(送料込)
購読のお申し込みは郵便振替
振替口座00980-2-245822
口座名:北九州市立大学同窓会兵庫支部

「三金会」会場が変わりました。
新しい会場は、中国 雲南茶苑 Tel.078-271-1168



(山手幹線添い北野坂、みなと銀行 地下1F)

(三宮駅から水車で有名な「正家」のある北野坂通を北上して山手幹線との交差点左手の「みなと銀行」の看板のあるビルの地下1階)

兵庫支部月例会「三金会」会場のスナック「フリージア」のママ、弘埜和子さんがC型肝炎の治療に専念する為入院され、お店の閉店が急遽決まった事に伴い新しい「三金会」会場が「雲南茶苑」に移転される事になった。9月例会から新しい会場で開催される。

「雲南茶苑」の経営者(ママ)は、中国雲南省出身の中国民族歌手・舞踏家の李紫君(Li Zi Jun)で北京中央音楽院・北京師範学院音楽科を卒業し、1991年に来日後、神戸中国雲南芸術交流団を設立し、雲南民族文化の紹介に努め、毎年「雲南民族音楽コンサート」を開催している。今年で第6回を数え、「北野工房のまち」で9月16日(日)午後1時および午後4時の2回に亘って開催される。それぞれ入場料は1,500円。

李紫君さんは雲南省家庭料理も得意で、2年前に「雲南茶苑」を開店し、ベトナム・ミャンマー、雲南・貴州・四川風のエキゾチックな料理を提供している。店内にはグランドピアノが備え付けられており、

兵庫支部月例会8月「三金会」レポート
支部活動功労者に河野氏推薦

8月17日(金)午後6時から定例会場のスナック「フリージア」において開催され、出席者は7名。
出席者: 銭谷勘一郎(38米英) 大村実良(33商) 平間正昭(37商) 名越英昭(37米英) 二宮慶治郎(38米英) 安徳信義(44商) 佐藤研二(H8法律)

事前に各役員にメール・ファックスで意見聴取された本年度の支部活動功労者被表彰者推薦について、河野旺生会計監査(36商)の推薦が決定したと銭谷支部長から報告された。本部の表彰審査委員会の承認を得て、10月28日開催の本部総会の席上にて表彰される。



忘年会は12月8日(土)昼の開催を予定し、会場はカラオケスタジオ「ひばり」で、会費については、後日決定する。

10月28日の本部懇親会の後に昭和37年卒同期会(茶話会)が開催されるが、同会に出席の人に本部懇親会のチケット代金を兵庫支部で負担することにし37年卒の参加を促すことになった。

11月早々に役員会開催をすることになり、その後の打ち合わせで、11月18日(日)午後1時からの開催が決まった。会場は未定。主な議題は、今後の行事予定、本部総会等の報告、役員改選(来年)について。後日事務局から開催場所等の詳細が郵送される予定。

李紫君さんが弾き語りで中国民謡など美しいソプラノを聞かせてもらえる。

「三金会」は従来通り、毎月第3金曜日午後6時から8時まで開催され、会費は3,500円です。

9月の第3金曜日は、21日となっています。新しい会場へ是非足をお運びください。

尚、「囲碁の会」も同じ会場「雲南茶苑」にて午後3時から6時まで開催されます。



(ピアノの弾きながら唄う李さん)



損害保険・医療保険・がん保険
の総合保険代理店

安心の発信基地

大村保険サービス

代表 大村実良
(昭和33年商学部卒)

652-0897

神戸市兵庫区駅南通3丁目4-1-302

TEL 078-671-7318 FAX 078-671-8316



8月に閉店致しました。長い間のご愛顧有難うございました
すなっく

フリージア

神戸市中央区北長狭通2-5-1
タイシンサンセットビル6F
電話078-392-2466

ありがとうございました



兵庫・関西囲碁交流会開催予定

10月6日(土)日本棋院関西総本部にて

今春の囲碁交流会が中止となった為、一年振りの開催となるが、従来の開催場所「刻(とき)」の閉鎖に伴い、会場を「日本棋院関西総本部」に移して第9回囲碁交流会が、下記の通り開催されることになった。

記

開催日時：平成19年10月6日(土)午後1時から
開催場所：日本棋院関西総本部

〒530-0017 大阪市北区角田町1番12号
Tel. 06-6364-5841

(下記の地図参照)

会費：1,000円

(日本棋院入場料一般1,200円、会員1,000円)

関西支部囲碁同好会会長都留氏の計らいで
会員並みの1,000円の入場料となる

懇親会：対局終了後、懇親会を予定。



阪急梅田駅から徒歩2分、JR大阪駅から徒歩約5分

阪神梅田駅から徒歩約6分、

赤い観覧車が目印のHEP FIVEの隣のビル

北九大連勝発進

九州六大学野球秋季リーグ戦始まる

9月8日(土)旧収録大学野球秋季リーグ戦が開幕し、北九大は今春の開幕戦で敗れた九大と対戦して、10-1と大勝、翌9日も5-2と快勝し、連勝で優勝へ向けて好スタートを切った。

春季リーグ戦の優勝校九国大は久留米大との開幕戦で5-6と惜敗し、黒星スタートとなった。

福岡大は西南学院大に連勝し、北九大と九国大との三つ巴で優勝争いがされることになろう。

秋季リーグ戦は9月8日から10月15日まで行われる。

九州学生ラグビーII部リーグ戦

昨年果たせなかったI部リーグ戦入りを目指して、9月22日の熊本大戦からII部リーグ戦が始まる。

II部リーグでは8校が総当りで1試合ずつ戦い、上位2校がI部リーグ下位2校との入れ替え戦に臨む。



エッセー

近頃通勤風景

山田紘昭(44商)

平成5年から、阪急とJRを乗り継いで大阪市天王寺区にある会社に通勤を始めて15年になる。

20代は、東京時代での3年間、神奈川県相模原から小田急線で新宿まで通い、あの猛烈な通勤ラッシュも経験した。30~40代の前半は時々電車通勤を味わった。40代の半ばから、言ってみれば日本の平均的なサラリーマンの通勤を味わっている。

現在は、阪急宝塚駅から、朝7時31分発今津線・神戸線経由の梅田行き直通準急に乗る。以前は宝塚駅の一つ手前の宝塚南口から乗っていたが、最近はどうしても座って行きたい気持ちが強くなって、始発の宝塚駅まで徒歩15分を費やして、準急に乗るようになった。

最近、と言っても私がこの電車通勤を始めてからであるが、会社への行き帰りの途上の電車の中で見てきた風景を描いてみたい。

新聞を読む人

一頃、経済が成長していた時代やバブル景気の頃と比べて、車中で新聞を読む人が減ったと言われている。低成長時代になって百数十円を支払うのもモッタイナイと思うようになったのかもしれない。

以前は、よく見かけていたが車内で読み終わった新聞を棚の上に捨てていく人は、最近は見かけなくなった。駅には分別回収用のゴミ箱が備え付けられているので、そこに捨てるようになった。バブル崩壊後、失われた10数年の間に企業はリストラや経費節減に努め、同時にその副産物として環境に配慮をした結果、サラリーマンの地球環境についての認識は格段に高まってきた。

車内でのサラリーマンの新聞の読み方は、今も昔も変わらない。色々である。几帳面な人は、日経新聞を縦に半分に折って、新聞の上の方から親指と人差し指で押さえながら下の方まで折り目をつけて、半ページずつ(角が綺麗に重なっている)読んでいる。又、四分の一ぐらいの大きさにして読む人や、両手で大きく広げて読む人もたまにはいる。(混んでいる時は出来ない)

私は、半分に折るが、必ず一箇所が盛り上がりが出て皺が出来てどうしても綺麗に折り重ねられない。降りるときも、面倒くさいので元の状態に戻さず、くしゃくしゃの状態のカバンに入れてしまう。

最近変わったと思う光景は、若い女性が日経を一生懸命に読んでいる。大体は黒のスーツに身を包んだ戦

私は、家では結論を先に読んで、会社では結論を先に読んで、通勤のときが多いが、産経は「正論」の記事が痛快であり、朝日との論争(教科書問題等)が面白くてよく読んだ。毎日読売も読むが、最近では朝日が読みたくなる。やはりなんと言っても読み応えは朝日が一番だと思っている。

ケータイ

今では、子供からお年寄りまで、ケータイなしでは生活が出来ないくらい普及している。



(次ページへ続く)



近頃通勤風景 一続き一

ずっと昔から携帯電話はあったが、1993年細川連立内閣の時に、電波法が改正されて、その後急速に普及し始めたと言われる。

普及し始めの頃は、車内に「リーン、リーン、リーン」と一般電話の呼び鈴の大きな音が響き、そして、大声の話し合いの音が響き渡る。しかも話す人は、周囲に気兼ねもしない。そのような光景はよく見られた。通勤時の車内は静かなので、皆無然としていた。



そのうち、車内放送で「お客様の、ご迷惑になりますので、マナーモードにして通話をご遠慮頂きますよう、ご協力よろしくお願いたします」と放送されるようになった。

便利なケータイ電話の使用を制限する権利が阪急電鉄にあるのかと、顧客に言われたのかどうかは知らないが、当初は阪急も低姿勢で放送していた様に思う。

しかし最近では、「ケータイ電話のご使用は禁止されています。この電車の一両目、一番うしろの車両ではケータイ電話の電源をお切りください」と言う放送になっている。当該車両には、携帯電話OFF車両のレッテルが貼られている。

この頃では、平気で車内で話す人はいない。「今、電車の中、後から電話する」と遠慮がちに小声で言って、すぐ切っている。

JRでも地下鉄でも同じようなことだ。別に携帯電話の使用制限に関する法律がある訳ではないと思うがいつの間にかマナーとして定着した。公共機関と利用者間で高度に発達した文明社会のコモンセンスになった。

最近では、のやり取りがかるうか。帰がケータイをいる。一度半数以上が、(ゲームを楽



ケータイの利用はメール主になっているのではな路の車内では、多くの人睨みながら指を動かしてをあたったことがある。同じ姿勢をしていた。

しんでいる人もいるとは思いますが)中高年も若い人も同じだ。恐らく「今、梅田7時半には帰るので、ビールを冷やしといて」と打っているのだろう。昔の駅の電話での、カエルコールのメール版だ。かく言う私も毎日実行している。

無頓着な人

座席を詰めないで、スペースを残して、悠然と座っている人々がいる。私はその人の前に立っても、全然こちらの気持ちを推し量れなくて、席を詰める動きをしない。若い人、年配者に関わらず、そのような人がいる。通勤電車内では、座っている人が相手の身になって反応するのがマナーと思っているが。そんな時、私は「何と、鈍い人よ」とイライラしてしまう。

車内の人前で欠伸をする人がいる。驚くことであるが、若い女性がぜんぜん口を手で覆わずに、堂々と、大きな口をあけて気持ちよさそうに欠伸をしている。我々が子供の頃にはこんなことは、考えられない事だった。

人前で化粧をする女性

これも困ったことではある。朝の通勤時にもいる。私は、女性心理は分からないが一心不乱にわき目も振らず、こちらが目を向けていてもお構いなしだ。どういことなのか、恥ずかしくないのか、気持ちが分からない。男が電気がみそりでひげを剃っている姿は、ずっと昔見たことはあるが



最近では見かけない。女性に恥じらいや奥ゆかしさが無くなってきているのだろうか。

塾帰りの子供達

午後9時を過ぎると小学生の子供達が塾から帰る。リュックを背負って、座り込んでパンやスナック菓子を食べたり「キャー、キャー」と言いながら車内を走り回っている。全く傍若無人の振る舞いである。「走るな!」と一喝してやりたいところだが・・・。



競争社会に勝ち抜く為の、一手段の為とは言いながらも、日本社会の貧困を感じる。

女性専用列車

何時頃からだろうか、各鉄道会社は朝、夕の通勤時間帯に女性専用車両を設けている。設けられた経緯は知らないが、「痴漢」対策もあるのだろう。女性専用車は乗り降りに一番便利なところ(出入り口に近い、階段に近い)の車両である。

「痴漢」は犯罪である。しかし最近では、痴漢に間違われて逮捕されるが冤罪のケースもあると言う。なにせ、相手から、痴漢と言われて認めなければ、身に覚えがなくても逮捕拘禁され犯罪者にさせられるのだ。(認めれば示談ですぐ釈放)

満員の通勤電車では触ろうと思わなくても、体や手

が触れることはある。故意でないのに痴漢呼ばわりされると堪らない。幸い私はその様なことは何もなかったが、「電車の中では両手を上に上げておかないとな」、「酔った時は、気をつけなきゃ」とはサラリーマンの常識だそう。



このような意味では、女性専用車両をもっと増やしてもらった方が、男性サラリーマンは安心だろう。

「彼女は嘘をついている」(小泉知樹著、文芸春秋社)はサラリーマンの痴漢冤罪の手記であるが、驚くべきこと、信じられないことが書かれている。

周防正行監督の映画「それでもボクはやってない」も見たが、犯罪者にさせられる過程が司法への批判として描かれている。

サラリーマン生活も40年近くなるが、IT社会、高齢化社会になってきている中で、働く環境は大きく変化してきている。60歳を過ぎても働く人が増えているし、SOHOと言われるような勤務形態も現れて会社に出勤せずに働く人たちが増えてきている。

通勤途上での働く人たちが演じる場面も変化している。

痛勤地獄と言われたひと昔、ふた昔前と比べると通勤風景は大人しく静かな感じがする。(おわり)

投稿大歓迎

皆様のご投稿を待っています
旅行記、随筆、自分史、短歌、俳句、川柳など
あるいは本紙に対する御意見・御感想、何でもOK

広告大歓迎

掲載料：1/10頁、1回500円
お申し込みは6回分3,000円で御願います

歩こう会 8月例会

麒麟ビアパーク神戸を訪ねて

平間正昭(37商)

8月12日(日)歩こう会8月例会が開催され、二宮(38米英)安徳(44商)平間(37商)の会員とゲスト参加の岡本氏の合計4名の参加だった。

神戸電鉄三田駅前に9時30分集合、三田駅横から麒麟ビールのラガーバスが一日6回(月曜日を除く)



出ていて、我々は10時10分発に乗り、10時30分にピアパーク神戸に到着した。

美人の案内役の工場内の説明を聞きながら、それぞれの工程を見学させてもらい、最後に試飲コーナーへたどり着いた。

(先ず原料の説明から)

試飲は中ジョッキ2杯と決まっております、「一番搾り」と「ラガービール」が飲めるようになっている。

ビールが飲めるようになっている。

出来立ての美味しいビールでした。

缶ビールの美味しい飲み方も教わった。缶から直接飲むより、大きめのピアグラスを用意して



(美人の案内嬢と記念撮影)

1. そのグラスに少し高いところからビールを注ぎ、泡とビールが半分半分となるようにして、しばらくおくと泡が減ってくる。
2. さらに注いで泡がグラスより1センチほど上に出るように注ぐ。しばらく置くとグラスの泡が20%、ビールが80%になった時に飲むとまろやかに美味しく飲めるとの事

待つのが大変だけど、一度試してみてください。



この工場にはレストランもあり、丁度お昼時だったので、千円ランチを食べながらビールを飲み、しばらく歓談した。おすすめのパンはとても美味しかった。

(ビールを飲みながら楽しい昼食
昼食後は二宮氏の借り農園が近くにあるとのことで、暑さと戦いながら歩いて行き、しばし二宮農園で時を過ごした。



大きな「ひまわり」が咲いていた。サツマイモ、インゲン豆なども植えてあった。

農園は水遣りと雑草の草取りが大変なようだった。

そこからしばらく歩くと田園があり、今の時期にしか咲かない稲の花を見る事が出来た。米の一粒一粒に花が咲く。その花が散ると実を結び稲穂が垂れてくる。なかなか感動的な現象である。



(稲の花に感動の筆者)

そこから30分ほど歩いたところに、先月オープンした広大な神戸三田プレミアムアウトレットがあった。100店舗におよぶアウトレット



があり、日曜日でもあったので、若い人でごったがえして、広い駐車場も満車の状態であった。

我々はその見学してから、バスでJR三田駅へと向かい帰途についた。最後に機会があれば、20名くらいでにぎやかに麒麟ビアパーク神戸へ行き、ゆっくり過ごす事をおすすめしたい。

以上



第六回雲南民族音楽コンサート

祝 第九回世界華商大会 in JAPAN

第六回 雲南民族音楽コンサート

2ステージ演出

2007年 9/16(日)

●第1ステージ(入場料 ¥1,500)
開演/午後1:00(入場は開演30分前です)

●第2ステージ(入場料 ¥1,500)
開演/午後4:00(入場は開演30分前です)

北野工房のまち

神戸市東灘区北野1-1-1 北野工房1F

お問い合わせ先 TEL:078-071-1188/090-1027-0457

主催 神戸中国貿易振興会